



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

# 総合地球環境学研究所

Research Institute for Humanity and Nature

要覧 2008



はじめに	1
設立の趣旨と目的	2
特色	3
地球研の目指すもの——統合知に向けて	4
研究プロジェクトについて	6
各研究プロジェクトの紹介	8
● 循環領域プログラム	8
C-01 (CR2) 大気中の物質循環に及ぼす人間活動の影響の解明	9
C-02 (CR2) 地球規模の水循環変動ならびに世界の水問題の実態と将来展望	10
C-03 (CR1) 近年の黄河の急激な水循環変化とその意味するもの	11
C-04 (FR4) 北東アジアの人間活動が北太平洋の生物生産に与える影響評価	12
C-05 (FR3) 都市の地下環境に残る人間活動の影響	14
C-06 (FR2) 病原生物と人間の相互作用環	16
C-07 (PR) 温暖化するシベリアの自然と人——水環境をはじめとする陸域生態系変化への社会の適応	18
C-FS1 都市をめぐる循環と多様性：人類と地球環境を架橋する巨大で複雑なシステムの未来可能性	19
C-FS2 水質の地域多様性の探求：循環を基軸にした水管理に向けて	20
● 多様性領域プログラム	22
D-01 (CR1) 持続的森林利用オプションの評価と将来像	23
D-02 (FR3) 日本列島における人間—自然相互関係の歴史的・文化的検討	24
D-03 (FR1) 人の生老病死と高所環境——3大「高地文明」における医学生理・生態・文化的適応	26
D-04 (FR1) 人間活動下の生態系ネットワークの崩壊と再生	28
● 資源領域プログラム	31
R-01 (CR2) 乾燥地域の農業生産システムに及ぼす地球温暖化の影響	32
R-02 (CR1) アジア・熱帯モンスーン地域における地域生態史の統合的研究：1945-2005	33
R-03 (FR2) 民族/国家の交錯と生業変化を軸とした環境史の解明——中央ユーラシア半乾燥域の変遷	34
R-04 (FR1) 熱帯アジアの環境変化と感染症	36
R-05 (PR) アラブ社会におけるなりわい生態系の研究——ポスト石油時代に向けて	38
● 文明環境史領域プログラム	40
H-01 (CR2) 水資源変動負荷に対するオアシス地域の適応力評価とその歴史の変遷	41
H-02 (FR3) 農業が環境を破壊するとき——ユーラシア農耕史と環境	42
H-03 (FR2) 環境変化とインダス文明	44
H-04 (FR2) 東アジア内海の新石器化と現代化：景観の形成史	46
H-FS メソポタミア文明における王朝の興亡と環境	48
● 地球地域学領域プログラム	50
E-01 (CR2) 琵琶湖—淀川水系における流域管理モデルの構築	51
E-02 (FR5) 流域環境の質と環境意識の関係解明——土地・水資源利用に伴う環境変化を契機として	52
E-03 (FR5) 亜熱帯島嶼における自然環境と人間社会システムの相互作用	54
E-04 (FR2) 社会・生態システムの脆弱性とレジリエンス	56
研究推進戦略センターの活動	58
人間文化研究機構のなかの地球研	59
共同研究	60
研究成果の発信	62
施設の紹介	66
組織	68
交通案内	72
● コラム フィールド調査先での出会い……ひとびと	21
……くらし	30
……たべもの	39
研究プロジェクトのフィールド調査風景	49